

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年12月12日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104522
法人名	医療法人 サン・レオ会
事業所名	グループホーム ゲンキ館
所在地	鹿児島県鹿児島市上之園町29番地14 (電話) 099-258-7113
自己評価作成日	令和2年10月29日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URI	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年12月4日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

鹿児島市の中心部に位置し利便性の高い場所であり、小学校や、高校に囲まれた閑静な住宅地にある。人としての尊厳を尊重するという理念に基づいて、懇切丁寧な介護を提供し、皆様と明るく落ち着いた日常が過ごせるように日々努力している。認知症の症状の進行した方でも、適切な対応が出来るようにスタッフ全員、研修を受け取り組んでいる。階下の医療機関で機能訓練としてのリハビリ指導を受け、日常の介護に取り入れている。階下の医療機関は人工透析も行っているのので、認知症で透析治療が必要な方の入居も可能である。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、母体が医療機関であり4階がグループホームになっている。1階に医療機関があり、健康管理や緊急時の対応がスムーズに行われ、安心につながっている。
- ・尊厳を尊重する理念があり、玄関やリビングに掲げて、職員会議で話し合い、確認している。年長者に敬意を払らい、家庭で暮らしているような感じの支援をしている。
- ・家族との面会が多いが、現在はコロナ禍にあり、窓越しの面会を行って家族の理解を得ている。外出支援を控えているので広いリハビリ室で歩行訓練を行っている。
- ・お便りの「ゲンキ館だより」は内容も楽しく家族に喜ばれている。
- ・管理者は職員の資格取得やスキルアップのための研修会参加を奨励し介護情報の提供等を行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「人としての尊厳」を大切にしながら家庭的な生活を目指す理念を作り、常に職員は理念を共有し支援している。	理念はホールやリビングに掲示している。理念を運営推進会議で話し合い、尊厳ある暮らしを目指し、日々振り返りや見直しを行い、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	学校区の地域施設として小学校の児童クラブの子供たちとの交流を持ったり、地域の理容店や美容室を利用したり、地域の行事に参加し交流を図っている。	町内会に加入し地域の夏祭り、小学校運動会等をコロナ感染防止の為、施設の窓から雰囲気のみを味わったり、散歩や買い物の時にあいさつを交わしたり、理容・美容室は訪問や出かけることもある。ホームの便りを毎月、地域の代表者に送付し、地域と継続的な交流に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	街中の地域性で近隣の付き合いはなかなか出来ないが民生委員、家族との繋がりを大切にしている。また地域の方々の介護に関する困った事等の相談助言を行っている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族、包括、民生員の方々に評価結果の報告を行い意見や助言を頂き日々の介護に活かしている。又会議に参加出来なかった家族にも書面にて結果報告を行っている。	毎月テーマを決めて、会議は書面で行っている。入居者の状況やサービス内容・コロナ感染防止の為の対応や取組等を報告し、要望や助言を受け、運営に活かしている。会議の議事録は家族も見れるように玄関に置いている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域包括支援センターと連携を図り研修や他事業者との交流が出来るような関係作りに努めている。	市の担当者や地域包括支援センターとは、担当窓口を訪ねたり、電話で困難事例の報告や相談・ケアの様子を伝えている。市主催の研修会に出席し、協力関係を築いている。コロナ感染防止の為、市の相談員は、今年は受け入れていない。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	月1回の法人内の会議やグループホーム内の研修等において、共通の認識や実態確認を行い、身体拘束に繋がらない様に努めている。玄関の施錠についても家族に理解を得たうえで安全に配慮しつつ自由な暮らしを支援している。	身体拘束廃止委員会を設置し、外部・内部研修会や日々の暮らしの中で言葉遣いも含め、拘束のないケアの正しい理解と実践について全職員が取り組んでいる。4階と言う特異性を考え、玄関の出入りには職員が細心の注意を払い、外出したい時は、職員が同行し散歩や見守りをしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の認識を職員間で認識し月1回のミーティングで問題点やお互いに指摘や注意が出来る環境を整えている。利用者からの小さなサインや訴えに気付けるよう細心の注意を払っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	制度を利用している利用者様の経験を基に、研修等を行い理解を深める機会を設け十分な知識を得られる様にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入所時や内容の変更時に家族と個別に面談し、十分な理解と納得を得られる様に丁寧な説明を行い理解して頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族の面会時や担当者会議、運営推進会議の際に家族や他職種、外部からの参加を頂き、意見や助言を反映させ、サービス向上につなげている。意見箱も設置し活用している。</p>	<p>利用者からは、日常の暮らしの中で思いを聞いている。家族からは面会時に積極的に家族へ声かけを行い、気軽に意見や要望を出してもらえよう心がけている。出された意見や要望はミーティングや朝礼で話し合い、今後の運営に活かせるよう努めている。リハビリ室の窓越しに電話を使い家族と面会交流ができるように要望を取り入れている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日常業務の中で話しやすい関係を築き、ミーティングや法人内の会議で問題を提案し、管理者や代表者が検討し運営に反映している。</p>	<p>職員からは申し送り時やミーティング・日常会話の中で意見や要望を聞いている。管理者は日頃からコミュニケーションを大切にし意見や要望を言いやすい環境作りを心掛けている。浴槽に入る時の手すり設置や物干し棒をつけるなど、職員意見を運営に反映している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>資格取得への協力や介護情報の提供など、やりがいのある介護職への意識作りに取り組んでいる。就業に関しては個人の希望や条件を聞き、沿えるよう努力、改善をし個々にとって働きやすい環境作りに努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員一人一人がスキルアップ出来るように研修の案内を回覧等で情報提供を行っている。また内部研修や勉強会などを行い、技術の向上にも努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域包括支援センターや他事業所と情報交換や交流を図り、情報を得、サービス向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>初回の面談時に本人の思いや要望を聞き、家族とも連携をとりながら本人が安心して過ごして貰える様な関係作りに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>当施設の事を理解して貰いご家族の利用者に対する思いや不安、問題点などに耳を傾け相談しやすい環境作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>日々の生活の中で、利用者と家族が必要としている支援を察知、理解したうえで、主治医の意見も参考にし、見極め対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>年配者への尊敬の念を持って接し、これまでに培ってきた経験や人生観を傾聴し、共に生活していく中で楽しみや喜びを分かち合いながら、個々の要望に出来るだけ対応出来るように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えている関係を築いている	家族に協力して頂ける事は出来るだけお願いし、利用者、家族、職員の連携を図り、双方の意見や経緯を傾聴し皆で一丸となり支援出来るように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうよう、支援に努めている	近隣の理容店や美容室に行ったり、お店に買い物に行くなど交流を継続している。近所の方や親しい友人の方など気軽に訪問出来る様な環境作りをしている。	コロナ禍にあり、馴染みの美容院や近隣の店舗での買物・お喋り、自宅への外出・外泊、墓参りなど、今までできたことができなくなり、外に出る機会が少なくなっているが、窓越しの面会や電話等、できる範囲内で馴染みの関係が途切れないように支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	同じフロアで生活する事で家族の様な関係を築き、行事や日々のレクリエーション等を通じ和気藹藹となる環境作りをしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後に訪問されたり、馴染みになられた方々はお茶のみに来られたりされる。容体の変化による入院の場合も可能であれば面会等を行い関係を保つ様になっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	自己表現が出来る方は、希望や意向を傾聴し、困難な方は表情や日常生活の中で汲み取れるように努力し、その人らしい生活ができるように努めている。	夜間・入浴・おやつ時の会話・何気ない日常の仕草・つぶやき等で、職員の気付きから意向や思いを把握している。二者択一の手法で「どちらをしたいですか」と声かけし対応している。家族の面会時などに積極的に状況を説明し、早期の対応ができるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や本人からの思いを聞き取り、今までの経歴や職業歴などを参考にしながら、自宅で行っていた事等が継続できるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日ごろの様子を観察し、記録に残し、本人の生活リズムやペースなどを把握しそのリズムが崩れるとが事ない様に寄り添い支援ができるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族、他職種の方々の参加で担当者会議を行い、本人や家族の意見が反映出来るように、他職種の意見も参考に計画作成を行っている。	本人や家族から入居時に思いや要望を聞き、介護計画を作成している。モニタリングは常時、見直しは6ヶ月で行い、状況変化時は現状に即した介護計画を作成している。また、受診結果により医師・看護師・利用者・家族と相談しながら介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や支援等を個別に記録し、朝、夕と申し送りを行い職員が共有できるようにしている。状態変化がみられて時は話し合い検討し、見直し現状にあった計画書を作成している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	協力医療機関と医療連携も出来ており、往診、訪問看護等もあり、その時々ニーズにこたえられる支援が出来るように取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	小学校の行事に参加したり、町内会の行事に参加したり、近隣の理・美容室を利用したり、お店に買い物に出かけたりして地域の中で生活している実感と充実感が持てるように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の希望を優先し、納得のもと階下の協力医療機関がかかりつけになっている。他科受診の際も基本的には家族に同行して頂くが、状況によっては職員でも同行出来るように努めている。	週1回協力医の訪問診療、及び看護師来訪により利用者が受診や看護を受け、24時間医療連携体制がとれている。歯科の往診もあり、入居前からのかかりつけ医は家族の協力を得て受診支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の定期的な受診と健康管理をして貰い、緊急時には24時間体制で対応出来るようになっている。また、相談したり、助言を受けるなど連携もとれている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には主治医より紹介状を貰い情報を提供している。日々の状態や支援に関しては医療機関に介護情報提供書を作成し、早期に治療、退院が出来る様に情報提供している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に重度化や終末期におけるホームの方針や体制を説明し、本人、家族と話し合い、意向の確認をまめに行っている。状態変化時は再度話し合いの場を持ち、主治医、家族、職員と密に連絡を図り可能な限り対応出来るように支援している。	入所時に重度化に伴う看取りの方針を説明し同意を得ている。重度化や終末期には状態の変化がある毎に、本人や家族の意向を踏まえ、かかりつけ医・看護師と連携し、安心して最後を迎えられるよう看取りの体制ができています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急マニュアルを作成し、定期的に内部研修を行っている。法人内の看護師の指導を受けながら、救急手当や初期手当を訓練し、実践に活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の避難訓練を消防署の協力のもと実施し、法人全体の職員が速やかに対応出来るように取り組んでいる。スプリンクラーの設置や緊急マニュアルも作成している。</p>	<p>年2回法人と一緒に昼夜想定して災害緊急マニュアルを基に避難訓練を実施している。1回は消防署立ち合いでもう1回は自主訓練であり、消防署に報告している。自動通報装置・スプリンクラー・防火扉等、業者が定期点検している。備蓄は米・水・缶詰・レトルト食品・麺類等を厨房に用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人を大切に思い、年長者としての尊厳を守りつつ、信頼関係を築けるような声掛けをするように努力している。入浴時、排泄時など自尊心を傷付ける事のない様に対応している。	人格の尊重やプライバシーの保護についてマニュアルを基に勉強会や研修会を実施している。トイレ誘導・入浴介助・名前の呼び方等、さりげないケアや言葉かけの対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入浴時の洋服を選んだり、レクリエーションの内容を選んだりしている。思いが表現できない場合は決定しやすいような声掛けを行ったりしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な日課はあるが、個々のペースを尊重し、楽しく過ごせる時間も確保し、その日の体調にあわせ、レクリエーション、リハビリ、作業療法などを行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	好きな服を着たり、化粧をしたり、髪の毛を整えたり、ひげをそったり自由に行っている。自分で出来ない方は職員が聞き取りながら支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	配膳、下膳、おしぼり配り、おしぼり集め、テーブル拭き、食事の挨拶など出来る事をそれぞれに分かち合い、一つのテーブルで皆で楽しく食事をしている。	献立は栄養士が作成し、摂食状況や利用者の嗜好を伝えて調理している。きざみ食やミキサー食にも対応し、ひな祭りのちらし寿司やバイキングなど、楽しい食事を工夫している。ホットケーキ作りやおやつ作りをしたり、下膳等を利用者と一緒に行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の指導の下、栄養バランスや水分量を確認し、個々の摂取量、形態を把握し提供している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行い、口腔内の清潔に努めている。義歯は毎日消毒を実施をしている。定期で歯科医師に診てもらい指導も受けている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々に排泄状況やパターンを把握し、トイレ誘導を行い、日中はトイレでの排泄を行い、自立に向けた取り組みを行っている。自立の方は声掛け、見守りの支援を行っている。	排泄チェック表を作成し、排泄時間のパターンを把握し、声かけや気配りで排泄の自立に向けた支援を行っている。昼間はリハビリパンツとパット、夜はオムツやポータブルトイレ利用者もいる。おむつからリハビリパンツに、介護度が4から3になった事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄の状況を把握し、適度な運動を行い、水分量や食事にも気をつけている。週1回の受診時に主治医より、指導、処方を受けている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は定めてはいるが本人の希望に沿っていつでも入浴が出来るよう柔軟に対応している。拒否などがあった場合は無理せず本人のペースに合わせて曜日を変更する対応をしている。	入浴は週3回の午後からで、曜日・時間・湯温度など、利用者の希望を確認し対応している。入浴剤を使用する時もあり、気持ち良い入浴に努めている。入浴を拒む利用者には日時・順番・職員の交代など、工夫して入浴支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の生活のパターンに応じて体調を考慮し、自室で休まれたり、ホールで過ごしたりとそれぞれが過ごし易い環境になるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容を処方箋で確認し、内容変更等も常に把握し、理解に努めている。状態に変化があった場合は主治医に報告し、職員間でも共有出来る様にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人が出来る事を見極め、それぞれに役割事を決めて取り組んでいる。レクリエーションでは月ごとの壁紙を皆でつくったり、歌を歌ったり、ボーリングをしたり、本を読んだりなど色々な事をして楽しい時間を持つるように支援している		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	家族の協力を頂き、食事に出かけたり、自宅に帰ったり、近くを散歩したり、と柔軟に対応している。年間の行事として、花見やコスモス、水族館など2回は出かけられる様に支援している。	コロナ禍にあり、現在は散歩にも気を配っている。歩行訓練は医療機関の広いリハビリ室で行っている。年間計画を立てて花見や水族館等に、家族の協力を得ながら車椅子で外出を楽しんでいたが自粛し、個々に対応している。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理が出来る方には財布を持っていただいたり買い物に行く時は、お金を自分で支払えるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	希望があれば友人や知人に電話をかけたり、携帯電話を持たれている方は家族と何時でも話ができるように支援している。毎年、年賀状や暑中見舞いを書いて家族に喜ばれている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活空間には十分な広さがあり、和室、調度品、季節を感じる作品等の配置により、家庭的で生活感や季節感のある雰囲気作りにも工夫している。空気の入替えや温度調節にも気をつけ、共用部分は清潔を保ち居心地の良い環境作りを心掛けている。	共用空間は広く、室温や換気に気配りし清潔である。壁には習字や季節の作品を飾っている。近隣の小学校の子供達の元気な声が聞こえてくる。昼の間ではレクリエーションをしたり、ソファでテレビを見てゆっくりくつろぎ、利用者同士の会話もあり、快適に過ごせる環境作りに取り組んでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	馴染みの席を作り、食事や遊び、工作など気のあった者同士で和気藹藹と話せ楽しい場所の提供が出来るように工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の使い慣れた物を持ちこんで頂いて今までの生活が大きく変わらない様に、工夫し、安全に過ごせるように支援しています。	居室はエアコン・クローゼット・ベッドを設置している。家から持ち込まれたテレビや冷蔵庫・時計等を置き、車椅子使用者が多いので転倒に気配りして、居心地よく暮らしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや浴室、玄関や廊下など安全に過ごせるように環境設備を整え、一人一人の残存機能が維持でき自立した生活が出来るように工夫している。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない